

国際理解

氏名：網敷 俊志

学校名：清真学園高等学校・中学校

担当教科：理科・道徳 他

実践教科：道徳

時間数：1時間 対象学年：中学1年～3年 人数：132名(中1)、134名(中2)、132名(中3)

【実施概要】

【1】単元のテーマ・目標（評価の観点を意識して設定）：	
『日本は幸せ？ タンザニアは不幸せ？ 幸せって何かを考えるための国際理解』	
【2】単元の評価基準例	(ア) 関心・意欲・態度
	(イ) 思考・判断・表現
	(ウ) 技能
	(エ) 知識・理解教科
<p>特別の教科「道徳」では、学習活動における「生徒の学習状況や道徳性に係る成長の様子」を、観点別評価（分析的に捉える）ではなく個人内評価として丁寧に見取り、記述で表現することが適切であり、具体的には、個人内評価を記述で行うに当たっては、その学習活動を踏まえ、観察や会話、記述、質問紙などを通して、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他者の考え方や議論に触れ、自律的に思考する中で、一面的な見方から多面的・多角的な見方へと発展しているか ・多面的・多角的な思考の中で、道徳的価値の理解を自分自身との関わりの中で深めているか、といった点を重視する。 	
【3】単元設定の理由（生徒観、教材観、指導観）	<p>茨城県鹿嶋市にあり併設型中高一貫校である本校は、進学校としてだけでなく地域のリーディングスクールとしてその役割を担っている。また、平成19年度からは、文部科学省よりスーパーサイエンスハイスクール（SSH）に指定され、先進的な理数教育を実施するとともに、高大接続の在り方について大学との共同研究や、国際性を育むための取組を推進し、また創造性、独創性を高める指導方法、教材の開発等の取組を実施している。</p> <p>その建学の精神は「波荒き鹿島砂丘に、人間性の勝利をめざし、常に心清く、豊かな知性をもって真理を追求する。」であり、「師弟同行、もって全人教育の徹底を期す。1. すべて至誠をもって事に当たる。2. 自立心を高め、逞しい気力と体力をつくる。3. 豊かな人間性を培い、敬愛奉仕の念を深める。4. 能力適性を最高度に伸ばし、志望の達成をはかる。5. 国際的視野に立ち、創造性に富む自己を確立する。」を教育方針としている。</p> <p>本校の国際交流は、オーストラリアの姉妹校 Pacific Lutheran College との短期交流・ターム交流、タイ王国の提携校 Princess Chulabhorn Science High School Phitsanulok との科学教育交流といった2校間関係による生徒の交換留学だけでなく、アジア・北米・南米・大洋州などからの帰国生・留学生の受け入れなども積極的に行っている。</p> <p>このような環境の中で過ごす生徒たちに対し、グローバル人材の育成の一環として、中学段階での特別な教科「道徳」において、国際理解教育を行った。なお、本年度は中学校での授業を担当していないため、中学1年から3年の「道徳」の授業として、それぞれ学年の全生徒を対象に授業を行った。</p>

生徒たちがイメージする国際交流の対象となる国は、一般的に先進国と呼ばれる英語圏の国々であり、本授業で扱ったタンザニアのようなアフリカの国々は含まれていない。さらに、知識としてのアフリカの国々は、貧困・紛争などのネガティブ・イメージがほとんどであり、現地の人々の日常の暮らしには想像が及ばない。このような中で、本授業では、国際理解として異文化を持つアフリカを知ること、また道徳的価値の理解を自分自身との関わりの中で深めることをねらいとする。

【5】本時の展開

過程・時間	学習活動	指導上の留意点（支援）	資料（教材）
導入 (10分)	<p>本時の学習内容の説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テーマ『日本は幸せ？ タンザニアは不幸せ？ 幸せって何かを考えるための国際理解』 <p>事前配布資料・事前学習の確認 (ワークシート、事前学習資料)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・タンザニアの文化を紹介。 (ティンガ・ティンガ、衣装) ・ワークシートの問いを調べたか ・事前学習資料を読んだか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ティンガ・ティンガ ・衣装 ・ワークシート 【資料1】 ・事前学習資料 【資料2】
展開 (15分)	<p>タンザニアについて学ぶ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アフリカのイメージ ・タンザニアの概要 ・研修訪問先の紹介 <p>『世界がもし100人の村だったら』を参考にして、日本と世界を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・タンザニアにおける日本の際協力 ・世界に暮らす人々の現状 	<ul style="list-style-type: none"> ・動画からイメージを共有させる。 ・ワークシートの答え合わせ。 ・多田さんの活動について紹介。 	<ul style="list-style-type: none"> ・スライド 【資料3】 ・『世界がもし100人の村だったら』 【参考資料】
まとめ (10分)	<p>各自「幸せ」について考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「あなたにとって大切なものはどれですか？ (ダイヤモンド・ランキング)」に答える。 <p>「幸せ」に対する考え方の違いを知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・周りの生徒とダイヤモンド・ランキングを比べ、違いを知る。 ・日本とタンザニアの「幸せ」について考える。 ・本時の授業を振り返る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・JICAが行っているタンザニアでの協力事業を紹介。 ・スライドの文を音読。 	
		<ul style="list-style-type: none"> ・話し合いの時間をとり、その様子を机間巡視する。 ・ワークシートに記入する時間を計測する。 ・振り返りの発問をする。 	

【授業実践の様子】



本時の学習内容の説明



タンザニアの文化を紹介



ダイヤモンド・ランキング



ランキングを比べる



価値観の違いを知る



「幸せ」について考える

【7】単元を通じた児童生徒の反応 / 変化

- ・自分たちにとってあたりまえのことがタンザニアの人達にとっては全然あたりまえじゃなくて、アフリカの人たちも平和っていうか平等になってほしいと思いました。(中1女子)
- ・タンザニアの人について考えられた。また、友達のダイヤモンド・ランキングを見て、人によって大切なものはちがうんだなあと思いました。(中1女子)
- ・以前からアフリカに興味があったので、今回の講義は興奮した。大学を出たら前からの夢であった青年海外協力隊に参加したい。(中1女子)
- ・先生の体験談が多くて、とてもおもしろかったです。「幸せ」を考える時間も好きでした。(中1女子)
- ・日本とは違うタンザニアの生活がよく分かった。タンザニアは、日本よりも貧しく、衛生環境も悪い。でも先生が何度も言っていたり、写真でも見た通り、笑顔がピカいちだと思った。この授業を受けて、普段ももっと笑顔でいたいと思った。(中1女子)
- ・この授業でタンザニアの人々は大変なのだと心に残りました。高校に行く人は5%というとてもひくい確率で、中学は義務教育なのに30～40%の人しか行ってなくて日本とは全然違うんだなと思いました。(中1女子)
- ・動画なども入っていて、とても面白かったです。実際に行ってみることで知ることはとても多いのだと分かりました。私も実施に行ってみたくなりました。日本とタンザニアを比べることで、日本は幸せに恵まれた国だと分かりました。今「生きていること」を大切に、「生きること」も幸せだと思って、生きていきたいです。(中1女子)
- ・タンザニアの事を深く知る良い機会になることができました。日本との違いには、ショックを受ける時もあったけれど、タンザニアの人々の一人一人が笑顔というところが一番印象に残りました。でも、都会の中でのストリートチルドレンには笑顔がなく、その点が少し気がかりでした。(中1女子)
- ・アフリカのイメージが変わりました。前は、貧しくてみんな不幸だな・・・と思っていたけど、今は、貧しくても笑顔があふれてて、物がなくても幸せそうだった。でも、もう少し物があればもっと幸せだな・・・と思った。(中1女子)
- ・タンザニアのイメージと現状が異なっていた。また、日本と関係が深く、「技術」という形でタンザニアを救っていた。知らない事が分かって嬉しかった。(中1女子)
- ・タンザニアはもっと暗いかんじかと思ったけど、ノリがよくて楽しそうだなーと思った。日本とはほどとおい国だけれど、日本に欠けていることもあるんだなと思った。(中1女子)
- ・今までアフリカは遠い遠い外国で、自分には関係が無いと思っていたが、そこに住んでいるのは自分と同じ「人間」なのだと再確認させられ、さらに自分でもその人達を助けられると分かって良かった。(中1男子)
- ・タンザニアの国がアフリカにあるからといって、みんなが貧しくて不幸だというわけではないことがわかった。

発展途上国だけど、確実に進歩しているし、みんな楽しそうに過ごしている。だから、不幸というわけではないと思直した。(中1女子)

- 世の中には、安全ではない国、食べ物があまりない国、などが多くあり、環境がよくない国の方が、もしかしたら多いのかもしれないと思った。タンザニアの人たちは、生活で大変なことが多いのかもしれないけれども、笑顔があるというのはすごいと思った。(中1女子)
- 自由があたりまえにできていること、やっていることがあたりまえではなく幸せなんだと思った。今ここにいること。この服をきていること。友達がいること。すべてが幸せだ!!(中1女子)
- 私も教頭先生のように大きな夢をもって、その夢にむかって一生懸命勉強しようと思いました。(中1女子)
- 自分が思っていた幸せと他の人が思っていた幸せが違って、みんな考えることが違うとあらためて思った。また、タンザニアの人は大変だと思い、自分の生活がふつうでもないと思った。(中1男子)
- 日本は豊かで恵まれている国だということがわかった。人を助ける仕事の素晴らしさを知った。肌の色、国など関係なく、人の命は大事なのだとわかった。(中1女子)
- 普段は知ることのないタンザニアのことが知れて、とても興味深かった。「幸せ」とは何か、自分は何が大切なのか。もう一度考えることができてよかった。(中1女子)
- 日本は、水もきれいで川から水をくまなくても蛇口からきれいな水もでる。医療施設だって、きちんと整備されてるし、食料だって、コンビニやスーパーに行けばたくさんある。それが私たち日本人の普通だと思っていた。あたりまえだった。けれども、タンザニアと日本を比べてみると、それは真逆だった。今は、日本の技術支援で、きれいな水が手に入る。しかし、前までは川へ水をくみに行き、決してきれいとは言えない水を口にして、病気になる人がたくさんいた。私の生活は、どれも世界から見れば当たり前なんてことはひとつもないと知った。だから私はタンザニアの人を見ならって1つ1つのことに感謝して生きていきたいと思う。(中1女子)
- 難しかったです。どうすればよいか分からなくなりました。このことを頭の中に入れて行動するようにします。(中2女子)
- アフリカの人達は、イメージとして怖いものが少しありましたが、今日の授業でそれにも理由があることが分かり、勉強になりました。私もアフリカに行ってみたいと思いました。(中2女子)
- 話を聞いて、考えさせられた事は沢山あったけど、結局たどりつくのは同じで、平和、幸せに生きることなんだろうな、と思った。私もいつかアフリカに行ってみたいです。(中2女子)
- アフリカの人は小さな幸せを見つけられる人だと思った。世界中の人の全員が平等になることは難しいが平和になることは可能だと思った。だから募金するなど自分にできることからやろうと思った。(中2男子)
- 幸せとは何なのか、ということについて、真剣に考えたのは初めてだったので良かったです。またこのような授業を受けたいです。(中2男子)
- 生活が苦しい中でもアフリカの人々は笑顔が絶えない所がすごいと思った。多田さんが人のために、目で見て分かりやすいようにアフリカの人に物の整とんの仕方とかを教えていたので、すごく良いことだと思った。人それぞれ個人差があるので、自分らしくいることが大切だと思った。(中2男子)
- タンザニアなどを含めてアフリカはテロなどがたえない国々だと思った。どちらかと言うと悪印象しかなかった。でも今日の授業でがらっとかなり変わった。大きくなったら、もっと貢献出来るような人になりたいなと思えました。幸せって思えることが幸せだなって改めて思いました。(中2女子)
- 日本のほうが幸せそうだけど、私はアフリカのほうがきゅうくつな社会にしばらくならないから幸せだと思った。そう考えると、日本人はそんなしてると思う。(中2女子)
- 今の生活は、とても楽しくて幸せだけど、世界で食糧不足や治安が悪いところについて、深く考えることができてとても良かったです。今授業をうけている時にも、タンザニアの人たちは、私たちなら20秒ぐらいでいけるのも、片道30分で水をくみにいくなると大変だと思いました。本当に今の生活は幸せだと思いました。(中2女子)
- 改めて自分がどれだけしあわせな生活をしているかが分かった。何か行動する時に、一度貧しい人たちを思い出してから行動に出たいと思う。(中2女子)
- 世界には日本とは違う(あくまで日本人の視点からして)国があるんだと思った。人を殺すのは人間であり、人を助けるのも人間であると思った。(中2男子)
- タンザニアの体育の授業は実技がなく、教室で行うということを知って驚いた。思っていたよりしっかりしている学校だった。人々は楽しそうにしている、テレビに映される暗い表情をしたものだけを信じては駄目だなと思った。(中2男子)
- 日本で不満をいっていた自分を改めようと思った。それよりも難しい環境で暮らしている人々を思って日々や将来で役にたっていきたいと思った。(中2男子)

- ・ダイヤモンド・ランキングを考えるのが少し難しかった。特にアイデンティティーと多様性のちがいが分からなかった。今までタンザニアのことを考えることが無かったので、すごく良い時間になったなと思った。(中2女子)
- ・物がたくさんあること、文化が発展していることより、そこにいる人がどれくらい笑顔で過ごしているかが大切だなと思った。アフリカにいる人は内戦とか貧困とかでとても大変で、日本のほうが平和な暮らしができていながらもかもしれないけど「幸せ」を考えると、日本よりアフリカの人々のほうが幸せに暮らしているのかもしれないなと思った。私も多田恭子さんのように人のためになにかできるような人になりたいです。(中2女子)
- ・話せることや文字を知っているのは、普通のことだと思っていたけど、世界には言葉を知らない人もいて、時々“自分は恵まれてない”みたいなことを思うときもあるけど、そんなのは砂粒と同じくらいどうでもいいことなんだと思った。(中2女子)
- ・世界はとても広く、日本とは全く逆の環境に置かれている国があることを改めて感じた。私は特に「世界がもし100人の村だったら」の話が印象に残りました。日本はとても豊かで、貧しい国は沢山あるんだなと思いました。まだまだ世界が平等でも平和とも言えないけれど、私達ができることを探して、世界全体が幸せになる日が来たらいいなと思いました。(中2女子)
- ・こういうことをよく考えるのは難しいと思った。今回、自分とはちがうところに住んでいる人のことを知れてよかった。(中2男子)
- ・豊かさや自由だけが良いことなのではないということが分かりました。私も今生きられるということを大切にしたいと思います。(中2女子)
- ・タンザニアの人々は、貧しくてもみんなで何かを一緒にやることを楽しいと感じ、幸せだと思っていて、日本人の一部の人と比べたら、心がきれいななと思った。(中2女子)
- ・1番強く感じた事は、タンザニアの人々が皆日々を前向きに楽しんで生きていたという事で、改めて心からすごいと思った。(中2男子)
- ・ユニセフのCMとかでアフリカの子も達がついついを見て、アフリカにはマイナスのイメージしかなかったが、今日の授業でアフリカの子も達があついている姿をみてアフリカでもたのしそうだなと思った。(中3女子)
- ・人にはそれぞれ幸せがあつて誰が不幸とかその人達にしか分からないと思うので、安易に不幸な人などとは決めつけてはいけないと思った。私達があたりまえに過ごしている環境はアフリカの人々からみたら、めぐまれた環境なんだなと再認識できた。感謝の気持ちを持って生活していきたい。(中3女子)
- ・マイナスのイメージが多かったタンザニアだったが、授業をうけてその考え方が変わった。かわいそうだなって思っていた人たちは、本当は自分の知らないところで幸せそうにくらして、メディアなどはあてにしてはいけないと思った。子どもたちや大人たちの笑顔を見てすこし涙が出そうになった。子供たちの将来の夢とかをテレビでみていると、逆にうらやましいと思うことがある。(中3女子)
- ・タンザニアの人たちは貧しくて幸せではないと思っていたけれど、幸せはお金があることではないと分かった。少しずつでも平均寿命が延びて衛生環境が整ってきているということが分かってよかった。日本も技術の面で協力していてすごいと思った。タンザニアも日本も幸せはあると思った。(中3女子)
- ・今日の授業をきいて、同じ世界の中でこんなにも生活の差がひらいていることに改めて実感した。私達は恵まれているんだということを親に感謝したい。また幸せにこうやって生活できる国に生まれることができるともうれしかった。(中3女子)
- ・自分の知らないところで、自分たちと全く違う生活を送っている人がいて、それを詳しく知れてよかった。そこで何年も暮らす自身はないけど、一度タンザニアを訪れてみたいと思った。(中3女子)
- ・今回の授業で、アフリカの人たちやアフリカに対する考えが変わった。今までの自分のアフリカのイメージは、悲しい顔をしたたせた子たちが収められた写真など、マイナスなイメージだったが、今回の授業でアフリカの人たちがとても楽しく生きていることを知り、イメージが変わった。(中3女子)
- ・今回の授業で、私は最初アフリカの人たちは「貧しい」や「病気の人が多い」などマイナスイメージばかり持っていました。でもタンザニアの人たちの生活を見て、みんな笑顔だなと思いました。でも日本人のようにあたりまえに食事ができて学校に行くことができているのかかわいそうでした。これからは国際関係に興味を持っていきたいです。(中3女子)
- ・私はアフリカに貧困などというマイナスなイメージを持っていましたが、今回の講習を受けてアフリカの子たちのステキな笑顔にびっくりしました。勉強するにも食べるにしても、私たちが日々当たり前に行っていることに、すごく感謝して前を向いて生きているのが伝わりました。恵まれすぎているからこそ、私たちはもっと大事なものを失っているのだと気付かされました。日々のささいな事、豊かに暮らせていることに感謝して生きようと思います。(中3女子)

- ・アフリカ行きたいです。諸部族の信仰してる色々なものを見たりしたい。『風に立つライオン』いいですよ。物のゆたかさなんて『幸せ』に関係しないんだということを今回学びつつ、なおも物のゆたかさには価値を見出してしまう資本主義国家の私、むなしい。(中3女子)
- ・「世界がもし100人の村だったら」を聞いて、もしも100人の中で貧富の差が生まれていたら、きっとお金をわけあい、差をうめようと思う。100人の村ではなく、70億人が暮らす地球上で差をうめることはできないのかなと思った。(中3女子)
- ・アフリカの人たちの目は輝いていて楽しそうだった。アフリカに行きたくなった。小中が義務教育で、中学から英語で授業をすることを全く知らなかった。スワヒリ語から英語に切りかえるのは大変だと思った。物資を送るだけではアフリカは豊かにならないと知って驚いた。「世界がもし100人の村だったら」の話が印象に残った。(中3女子)
- ・今まではマイナスのイメージしかなかったが、ネットやニュースだけの一部のタンザニア・アフリカの側面的な所しか知らなかった。自分の先入観で物事を決めつけていた事が多い気がする。相手の事をよく知らずに関わったり、差別したりする事は違っているのではないか。もっともっとたくさんの国・人・環境を知って互いに理解が出来るのではないか。今日の授業がもっと行われて色々な人が興味を持って知れると良いと思った。(中3女子)
- ・この世界は広くいろいろな立場のいろいろな価値観を持ったいろいろな人がある。大事なものはその価値観を知り、考え、認めることであると思った。(ただ無理に自分を曲げたりはせず、よい所を取り入れる。キャラ?属性?性格?大事にしていること?を確立させることも大事)(中3男子)
- ・人間の偏見を改めて嫌いになった。どれくらい時間がかかるかわからないが人間が直さなければいけないものの1つだと思った。(中3男子)
- ・日本人は平和ボケしていると思った。きっとタンザニアの人達は命があることは幸せであって勉強出来ることは幸せ過ぎると思っているのではないか?だから授業は笑顔のたえないものだった。私はもっと勉強して知識をつけてたくさんの人を助けたいといけな気がした。(中3女子)
- ・アフリカへのマイナスイメージはほとんどそのままだったが、プラスイメージは予想外のものも多くあり驚いた。世界は国によって格差がひどいと思った。(中3女子)
- ・昔は平等や平和をダイヤモンド・チャートの上側に書いたと思う。しかし今はそういうことが書けない。タンザニアの人だって生きることが大切だと思う。豊かさが必要だと思う。私の考えていることだって当たっていると限らないが、小さなことでも幸せはあると思います。日本人にとっての小さな幸せはタンザニアの人にとっては大きな幸せだと思います。(中3女子)
- ・アフリカのイメージはあまり良いものではなかったが思っていたよりも発展していて、自分が大人になった時には日本の高度経済成長期のように新幹線を通したりオリンピックを開催したりするかもしれないと思った。これからの経済成長が楽しみと思った。(中3女子)
- ・夢は叶う。アフリカは悪いイメージだったが、今回の話を聞いてその人なりに楽しく暮らしていることを知り、いろいろな人生の楽しみ方がわかった。感じ方で人生は楽しめることを知った。(中3女子)
- ・とても感動した。私も前、青年海外協力隊っていいなと思ったことがあったので、とても印象深かった。将来なる仕事が医療系もいいなと思った。(中3女子)
- ・タンザニアは日本よりも貧しいが、その国にも幸せというものがあると感じた。これからはもっと多くの人が世界に散らばっていくが、その人々との共存していくことが大切だと思った。(中3男子)

【自己評価】

1. 苦労した点	約10日間の教師海外研修での成果を、たった1時間の授業のみで、生徒に伝えることの難しさを感じた。伝えたいことは本当にたくさんあった。そのため今回の実践授業では、生徒に何を学んでほしいかを、テーマ設定の最優先とし、1時間で学べるもの以外は全て削ぎ落とす必要があった。その取捨選択が最も苦労したところである。また事前学習についても、スタッフの協力が不可欠だった。
2. 改善点	3学年それぞれで実施したが、個人差はもちろん発達年齢も異なるので、生徒が関心を持つような話の進め方には、工夫が必要だと感じた
3. 成果が出た点	ダイヤモンド・ランキングを用いることで、正解のない問題に生徒が取り組むことができたのは、大きな成果だった。特に人との違いに気付かせることは、生徒たちの今後の学校生活の中でも役立つものと思う。

4. 備考（授業者による自由記述）	今回の教師海外研修に参加してわかったことは、実際にタンザニアを訪問した約10日間の現地での研修だけでなく、事前研修や事後報告などを含めた全ての研修が、自分自身の教師力向上につながるものだった。この間、ご指導・ご協力をいただいた関係諸氏に、深く感謝するものである。
-------------------	---

添付資料：

【資料1】・・・ワークシート（B4両面）

平成29年度 国際理解教育 ワークシート

日本は幸せ？ タンザニアは不幸せ？
幸せて何かを考えるための国際理解

組 番 名前

参考図書 『世界がもし100人の村だったら』

池田 香代子 再話 C.ダグラス・ラミス 対訳 マガジンハウス

※ 別紙資料「青年海外協力隊【タンザニア・看護師】多田恭子さん」を読んで、
課題1と課題2を10月16日(月)の5時間目までにやっておください。

課題1 アフリカに関してイメージする言葉を、10個書き出してください。

- ①
- ②
- ③
- ④
- ⑤
- ⑥
- ⑦
- ⑧
- ⑨
- ⑩

課題2 タンザニア連合共和国について、次の質問1～10に答えてください。

(わからない人は、ぜひ調べてみてください。)

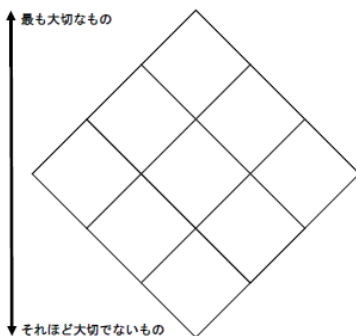


- Q1. タンザニアはアフリカのどこにあるでしょうか？
- Q2. 国土は日本の何倍？
- Q3. 人口は何人？
- Q4. 首都はどこ？
- Q5. 一番高い山の名前は？
- Q6. 何語を話してる？
- Q7. 主食は何？
- Q8. 何歳まで生きられる（平均寿命）？
- Q9. 毎月の給料はいくら（平均月取）？
- Q10. 高校に行けるのは全体の何%（高校進学率）？

課題3 あなたにとって大切なものをダイヤモンド・ランキングにしてみましょう。

課題4 幸せてなんだと思いますか。

※ 下の1～9の言葉は、授業の中で説明します。9つの言葉をそれぞれ9つのマスにあてはめてみましょう。あなたにとって本当に大切なものは、何ですか？



授業の感想

- | | |
|----|----|
| 1. | 6. |
| 2. | 7. |
| 3. | 8. |
| 4. | 9. |
| 5. | |

組 番 名前

・【資料 2】・・・事前学習資料 (B4 両面) ※多田恭子隊員についての資料

・【資料 3】・・・スライド (パワーポイント)

<p>国際理解教育</p> <p>日本は幸せ? タンザニアは不幸せ? 幸せって何かを考えるための国際理解</p> <p>2017年10月16日 (月) 5 校時</p>  	<p>アフリカのイメージ</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 広い ■ 暑い ■ 自然豊か ■ 野生動物 ■ 黒人 ■ 危険 ■ 病気 ■ 貧困 ■ テロ ■ 発展途上 	<p>アフリカのイメージ</p> <p>『風に立つライオン』 2015年 東宝 原作 谷本まほし 主演 大沢たかお</p> <p>「風に立つライオン」は1987年にリリースされたまほし氏の曲。</p> <p>・さだ自身によって小説化され、2013年に単行本が、2014年には文庫版がそれぞれ発行された。</p> <p>・2015年に日本の映画監督 三池崇史により映画化された。</p> 
<p>「夢」のアフリカに行ってきました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ JICA 筑波 教師海外研修 (国際協力機構 Japan International Development Cooperation Agency) ■ 2017年9月13日～23日 (11日間) ■ タンザニア連合共和国 ■ メンバー 12名 (教員 9名 + JICA スタッフ 3名) ■ 訪問団団長・・・清真学園教諭 原 聡 	<p>タンザニアってどんなところ?</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ Q1. タンザニアはアフリカのどこにあるでしょうか? ■ Q2. 国土は日本の何割? ■ Q3. 人口は何人? <p>A1. ... 約 94,500 km² (日本の約 2.5 倍) A3. ... 約 5182万人 (2014 世帯)</p> 	<p>タンザニアってどんなところ?</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ Q4. 首都はどこ? ■ Q5. 一番高い山の名前は? ■ Q6. 何語を話してる? ■ Q7. 主食は何? <p>A4. ... ドドマ A5. ... キリマンジャロ A6. ... スワヒリ語 A7. ... ウガリ</p> 
<p>タンザニアってどんなところ?</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ Q8. 何歳まで生きられる (平均寿命)? ■ Q9. 毎月の給料はいくら (平均月収)? ■ Q10. 高校に行けるのは全体の何% (高校進学率)? <p>A8. ... 52.23歳 (2002) → 64.94歳 (2014) A9. ... 594.29\$ (約 6万円) A10. ... 5% (中学進学率30~40%)</p>	<p>アフリカに行ってきました。</p> <p>【訪問先】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ ムヒンビリ国立病院 ■ ムンバティ小学校 ■ ラレオ小学校 ■ リンディ・ムトワラ給水施設 ■ アズニア中等教育学校 	<p>ムヒンビリ国立病院</p> <p>5S - KAIZEN</p> <ul style="list-style-type: none"> ・整理 ・整頓 ・清掃 ・清潔 ・整理 ・標準化 ・継続改善 
<p>国際協力って何だろう?</p> 	<p>日本の国際協力</p> <p>JICA</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 保健医療 ■ 教育 ■ 水資源・防災 ■ ガバナンス ■ 運輸交通 ■ 資源・エネルギー ■ 経済政策 ■ 民間セクター開発 ■ 産業開発/農村開発 ■ 都市開発・地域開発 	<p>『世界がもし100人の村だったら』</p> <p>池田 香代子 再読 C.ダグラス・ラミス 対訳 マガジンハウス</p> 
<p>タンザニアの人たちの幸せって何?</p> 	<p>日本で暮らす君たちの幸せって何?</p> 	<p>あなたにとって大切なものはどれですか? ◇ダイヤモンド・ランキング◇</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 自由 (好きなことができる) 2. 平等 (みんな同じ) 3. 平和 (みんな仲良く) 4. 軍事的優位 (力が強い) 5. 宗教 (神様・仏様) 6. 物の豊かさ (ほしいものが手に入る) 7. 多様性 (みんな違う) 8. アイデンティティ (自分らしさ) 9. 貢献 (人の役に立つ)
<p>あなたにとって大切なものはどれですか? ◇ダイヤモンド・ランキング◇</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 自由 2. 平等 3. 平和 4. 軍事的優位 5. 宗教 6. 物の豊かさ 7. 多様性 8. アイデンティティ 9. 貢献 <p>最も大切なもの</p>  <p>それほど大切なもの</p> <p>それほど大切なものではないもの</p>	<p>もう一度、考えてみよう!</p> <p>「幸せ」って何だろう?</p> 	<p>「夢」は叶う!</p> <p>皆さんも、ぜひ1度アフリカに行ってみましょう!</p>  <p>©2011 [USA for Africa- We Are the World] Thank you for listening!</p>

参考資料:

- ・『世界がもし100人の村だったら』 池田 香代子 著、C.ダグラス・ラミス 翻訳、マガジンハウス
- ・『冷静と情熱のアイダ 【タンザニア・看護師】多田恭子さん(27年度3次隊)』
https://hinemoto1231.com/jocv_interview/tada_kyoko
- ・『アフリカ留魂録 ダイヤモンド・ランキング』
http://africaryu-kon-roku.blogspot.jp/2012/08/blog-post_22.html